

## 5月28日 多摩森林科学園観察会

参加者 14名（うち、子ども3名）

担当者：赤藤由美子 小川真理子

5月28日に行われた、多摩森林科学園での観察会に8歳の息子と参加させていただきました。息子は一昨年の秋、清里への旅に参加して以来、変わらず森や探検が好きです。

当日は、「若くて目がいいから虫を見つけてね」と役目をいただいたのがうれしく、誰よりも先に歩き、張り切って虫を探し回っていました。ムカデ、蝶、てんとう虫などお馴染みの虫を我先に見つけ得意気でした。



葉っぱの茎に着いた泡を発見し、小川さんにアワフキムシだと教えていただきました。私は、何かの卵かと思いましたが、泡の中から虫が出現してびっくり。その他、葉っぱの裏に潜んでいたクワガタや美しいトンボ、最近近所では見なくなったカタツムリなども見ることができました。こんなにも多様な植物や生き物が森の中に住んでいるのだと、ワクワクした気持ちになりました。

お昼ご飯を食べてから後半、大人は小川さんの話に耳を傾けながら散策

し、子どもたちは森のクサイチゴを見つけるのに夢中でした。森を出る頃には美味しいクサイチゴとヘビイチゴがすっかり見分けられるようになっていました。息子が森を出た後の第一声は、もう一周したい！

普段は、マンションや住宅の隙間の小さな公園で遊んでいます。日々の生活に自然が足りていないと痛感させられました。

これからも子どもと一緒に、できるだけたくさん自然の中に身を置く時間を持ちたいと思います。



(舟生真純)



クサイチゴでした！

